

NITTOH BUSINESS REPORT

第52期 報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで



経営理念

社是

**私達は毎年の成長を誇りとします。
私達は築き上げた信用を宝とします。**

企業理念

- | | |
|-----------|--|
| 使命 | 新しい技術で未来を見つめ、豊かで個性的な心を育む暮らしづくりと、人にやさしく、地球にうれしい環境づくりをめざして、社会に貢献いたします。 |
| 経営 | 私たちは、築き上げた信用を宝とし、毎年の成長を誇りとして明日への活力とします。 |
| 行動 | 私たちは、感謝の心を大切にし、良識ある社会人として、英知を高め、責任ある行動をとります。 |

NITTOHのCS憲章

- 1.わたしたちは、お客様を家族と思い、常に敬意をもって接し、心からの満足を提供できるよう最善の努力を行います。
- 2.わたしたちは、常にお客様の声に耳を傾け、すばやく行動します。
- 3.わたしたちは、お客様の声を収集、分析及び共有化し、提供するサービス・技術には徹底してこだわり、常に向上を目指します。
- 4.わたしたちは、お客様の満足が、社員の満足へとつながることを認識し、働きがいのある職場環境を創造します。



需要の旺盛な市場を的確にとらえて、 業績確保に向けた戦略的取り組みに注力



代表取締役社長

中野英樹

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第52期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の決算を終了いたしましたので、ご報告申し上げます。

当期の当社グループを取り巻く環境は、国内企業の収益改善に伴う雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復などから、国内景気は緩やかに回復へと向かいました。しかし、国内物価の上昇が続き、個人消費回復の動きが足踏み状態となるなど、消費者マインドに与える影響は大きく、不安定な状況で推移しました。海外においては、長期化している中東地域での紛争などの地政学的リスク、原材料価格やエネルギー資源価格の高止まり、中国経済の停滞、米国の今後の通商政策動向による影響、欧米での高い金利水準の継続による為替への影響など、さまざまな経済活動に影響を与える景気下振れリスクや金融市場の下振れリスクがあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅建築業界では、少子化、住宅寿命の長期化、建設コストの上昇により新築着工件数は減少を続けています。一方で、製造業の国内回帰、インフラの老朽化等により、建設投資全体としては高い水準を維持しており、建設コストの上昇により、既存建築物のリフォーム、リニューアルはさらに増加傾向が継続しています。また、ビルメンテナンス業界も大都市への人口流入は続いており、訪日外国人の増加、再開発の進展、建設物の大型化等により、堅調に推移しています。

このような事業環境において、当社グループでは主に建設工事業において、非戸建住宅の介護施設やホテル、商業店舗などのリニューアル工事、既存の戸建住宅に対する中規模の補修・修繕工事が増加、また、太陽光発電システム・蓄電池設置工事が堅調に推移して、グループ売上高は、過去最高を更新いたしました。昨年度に引き続き、予定していた設備投資も計画どおり実施いたしました。

今後も建設工事業では、既存の戸建住宅に対する大型工事の受注を増加させることを目指し、提案力の向上や不動産事業との連携を通じて受注の増加を図るとともに、非戸建住宅向けのリフォーム・リニューアルにも注力いたします。また、設備関連では、蓄電池や太陽光発電などの需要が旺盛ですので、業績確保に努めます。住宅等サービス事業では、シロアリ対策や土地の維持管理に注力し、害虫対策の需要増加にも対応します。ビルメンテナンス事業では、労務費の増加に対応し、受注単価のアップが不可欠です。人手不足対応として待遇改善や外国人研修生の採用を計画し、生産能力の向上を図ります。

今後も長期的視点に立ち、設備投資、人材採用、育成に取り組む、継続的成長に向けて、努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも相変らぬご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月21日

継続して、営業拠点拡充のための設備投資を実施

継続的に営業拠点の拡充を進めており、関東地区での事業拡大に伴い、手狭となっていた「東京西営業所」は、2024年11月に東京都八王子市に完成し、移転しました。これにあわせて、事業所名も新たに「東京西事業所」へと変更いたしました。



【東京西事業所 全景】



【東京西事業所 倉庫・駐車場】



【東京西事業所 玄関エントランス】

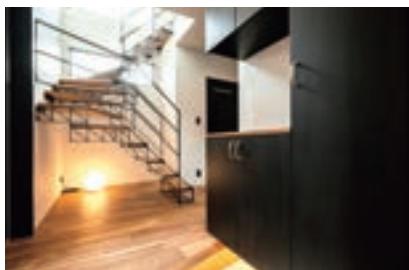


【東京西事業所 倉庫スペース】

Topics 2

戸建住宅以外の改修、リフォーム、リニューアルが大型化

今期も、さまざまな建築物において改修工事・リニューアル工事に加え、剪定・伐採などのグリーンサービス作業を実施いたしました。新築戸建住宅向けの工事は減少傾向にありますが、既存建築物の改修・リフォーム・リニューアルに対する需要は堅調に推移しています。オフィス、倉庫、宿泊施設、高齢者施設、店舗など、比較的規模の大きい戸建住宅以外の建築物における工事が増加しています。



Topics 3

取引先の多様化とともに工事も大型化、公共工事も受注

新築住宅の着工数が減少するなか、戸建住宅以外の改修・リフォーム・リニューアル工事を拡大し、取引先の多様化と工事の大型化が進んでいます。さらに今期は、公共工事の受注にも注力し、実績を上げることができました。今後も資格者の増員や工事管理体制の強化を通じて、業績のさらなる拡大を目指します。

売上高



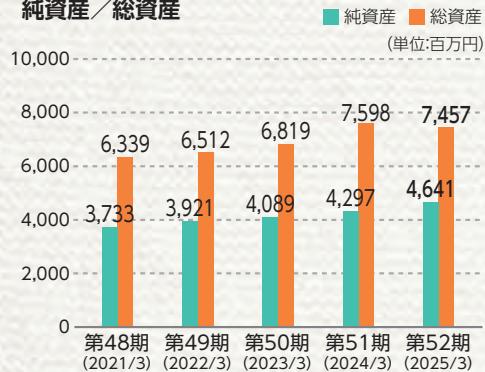
1株当たり当期純利益



経常利益



純資産／総資産



親会社株主に帰属する当期純利益



自己資本比率(連結)



セグメントの概況

建設工事業



売上構成比率
68.6%
売上高 **70.8**億円
営業利益 **2.1**億円



非住宅や商業店舗、介護施設などの建物の改修工事、戸建住宅のリフォーム工事が増加し、太陽光発電システムや蓄電池設置も堅調に推移して、業績は伸長しました。しかし、新築戸建住宅向け工事が低調であったことや事務所移転に伴う減価償却費の追加によるコスト増加で、利益面は厳しい状況となりました。

住宅等サービス事業



売上構成比率
13.1%
売上高 **13.5**億円
営業利益 **1.6**億円



高齢化に伴い、住宅や敷地、空き地に対する植栽管理、草刈りなどのグリーンサービスは増加して、業績は伸長しました。しかし、新築戸建住宅向けのサービス、新規シロアリ対策、床下環境改善商品の販売は低調に推移して、利益面では厳しい状況となりました。

ビルメンテナンス事業



売上構成比率
18.3%
売上高 **18.8**億円
営業利益 **1.6**億円



清掃管理サービスは、取引先からの作業依頼件数の増加、価格の見直しなどにより、業績は伸長しました。しかし、清掃スタッフの人手不足は継続しており、雇用継続、処遇改善による清掃スタッフ確保のためのコスト増加は続いており、原価は上昇しております。

次期の見通し

日本の経済は、米国の関税政策やウクライナ問題などの海外の不透明な状況に影響されています。国内ではインバウンド需要(外国人観光客の消費)が活況ですが、物価の上昇が続いており、生活に対するゆとりが感じられない状況です。

住宅建築業界では、少子化や住宅寿命の長期化、建設コストの上昇により新築着工件数が減少しています。しかし、製造業の国内回帰やインフラの老朽化により、建設投資全体としては高い水準を維持しています。特に既存建築物のリフォームやリニューアルの需要が増加しています。ビルメンテナンス業界では、大都市への人口流入、訪日外国人の増加、再開発の進展、建設物の大型化などにより、堅調に推移しています。

当社グループとしては、こうした状況のなか、建設工事業では、リフォーム・リニューアル事業に注力いたします。また、戸建の大型リフォーム工事の受注を増加させ、セブンハウスや不動産事業とも連携し、相続やファイナンシャル面での相談にも応じて受注増加を図ります。住宅等サービス事業では、高齢化が進んでいる地方や郊外において、住宅や休耕地の維持管理に関する委託事業の増加に努めます。ビルメンテナンス事業では、労務費の増加に対応するため、受注単価のアップが不可欠です。今年度は、人手不足対応として、工務系社員の待遇改善や外国人研修生の採用を実施してまいります。

2026年3月期の連結業績予想

売上高	10,900百万円 (前年同期比 5.5%増)
営業利益	390百万円 (前年同期比40.1%増)
経常利益	410百万円 (前年同期比34.4%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	277百万円 (前年同期比31.2%減)

連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	(2025年3月31日現在)
資産の部	
流動資産	3,980,004
現金及び預金	1,551,709
受取手形、売掛金及び契約資産	1,231,884
棚卸資産	1,119,322
その他	77,688
貸倒引当金	△600
固定資産	3,477,802
有形固定資産	3,059,624
建物及び構築物	1,221,423
機械装置及び運搬具	10,824
土地	1,818,506
その他	8,870
無形固定資産	13,914
ソフトウェア	6,094
その他	7,820
投資その他の資産	404,262
投資有価証券	103,174
繰延税金資産	162,188
その他	139,324
貸倒引当金	△425
資産合計	7,457,806

科目	(2025年3月31日現在)
負債の部	
流動負債	1,983,620
支払手形及び買掛金	877,437
短期借入金	510,000
1年内返済予定の長期借入金	99,996
未払法人税等	70,380
賞与引当金	129,940
完成工事補償引当金	14,600
その他	281,266
固定負債	833,124
長期借入金	195,014
退職給付に係る負債	448,675
長期未払金	9,840
その他	179,595
負債合計	2,816,744
純資産の部	
株主資本	4,589,537
資本金	186,072
資本剰余金	145,813
利益剰余金	4,259,535
自己株式	△1,883
その他の包括利益累計額	51,524
その他有価証券評価差額金	51,524
純資産合計	4,641,061
負債純資産合計	7,457,806

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	10,328,658
売上原価	7,777,377
売上総利益	2,551,281
販売費及び一般管理費	2,272,839
営業利益	278,442
営業外収益	43,784
営業外費用	17,132
経常利益	305,094
特別利益	294,332
固定資産売却益	294,332
特別損失	4,500
固定資産除却損	4,500
税金等調整前当期純利益	594,926
法人税、住民税及び事業税	136,435
法人税等調整額	56,027
当期純利益	402,463
親会社株主に帰属する当期純利益	402,463

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	305,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	175,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△513,213
現金及び現金同等物の増減額	△32,678
現金及び現金同等物の期首残高	1,550,314
現金及び現金同等物の期末残高	1,517,636

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(スポーツ支援活動) 藤野柊斗選手とのスポンサー契約締結



【藤野柊斗 選手】

株式会社ビルワークでは、スポーツライミング・スピード種目の日本代表であり、2025年2月に佐賀県で開催された「スピードジャパンカップ」で見事優勝を果たした藤野柊斗（ふじの しゅうと）選手とスポンサー契約を締結し、今後応援していくこととなりました。

藤野選手は千葉県出身で、現在は東洋大学に在学中です。2028年ロサンゼルスオリンピック出場を目指し、日々トレーニングに励んでいます。

挑戦を続ける若きアスリートの姿勢に深く共感し、藤野選手のさらなる飛躍を心より応援してまいります。

(社会貢献活動) アール・ブリュット支援活動の紹介

当社では、アール・ブリュットの理念に賛同し、その普及・啓発活動の一環として、障がいのある方々による芸術表現の支援に取り組んでおります。アール・ブリュットは、精神障がいのある人々の創作活動に起源を持ち、現在では障がい者アートを指す言葉として広く認知されています。

このたび当社では、作家・荒木麻奈氏の作品をデザインに採用したクリアファイルの制作に加え、工事現場に設置するシートにもアール・ブリュット作品を印刷し、「現場をアートに」というコンセプトのもと、現場からも芸術文化の発信を行ってまいります。



【クリアファイル】

(再生可能エネルギー活用) 東京西事業所における電気自動車導入



【電気自動車】

このたび、東京西事業所に電気自動車（EV）が納車されました。同事業所には、屋上に太陽光発電設備とEV用充電設備が整備されており、再生可能エネルギーを活用した環境にやさしい運用が可能となっています。東京都では、電気自動車や蓄電池の導入に対する補助制度が充実しており、また、災害時の停電対策の備えとしてもEVへの関心が高まっています。こうした背景から、電気自動車の導入は今後ますます注目される分野です。当社に実車があることで、お客様へのご提案や導入支援にも大いに役立つことが期待されます。

今後も、環境への配慮と災害時の備えを両立させる取り組みを積極的に進めてまいります。

株式情報

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	13,400,000株
発行済株式総数	4,060,360株
株主数	1,222名

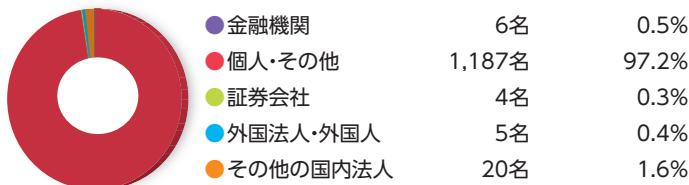
大株主の状況 (2025年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ナカノコーポレーション	1,080,000	26.64
堀 由紀子	520,000	12.82
中野 英樹	156,000	3.84
堀 裕紀	150,000	3.70
NITTOH社員持株会	121,600	3.00
奥田 清人	93,500	2.30
株式会社三菱UFJ銀行	90,000	2.22
内藤 征吾	87,800	2.16
株式会社あいち銀行	82,000	2.02
東邦瓦斯株式会社	60,000	1.48
住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社	60,000	1.48

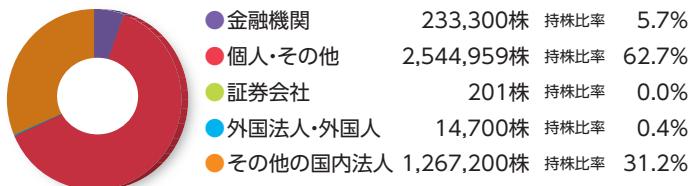
(注) 持株比率は、自己株式(7,257株)を控除して計算しております。

株式の分布状況 (2025年3月31日現在)

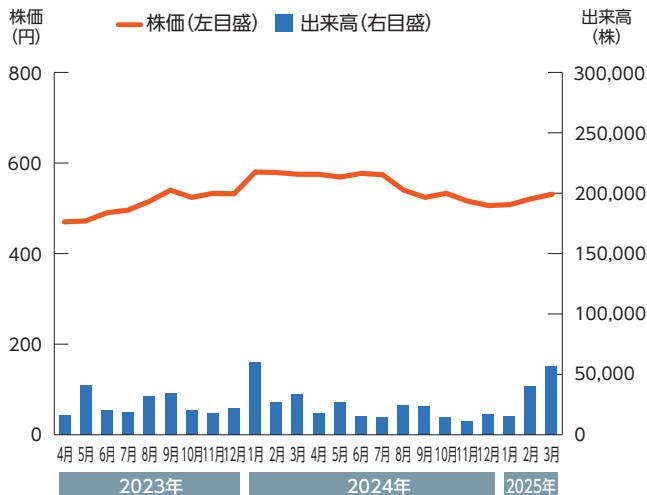
所有者別



所有株数別



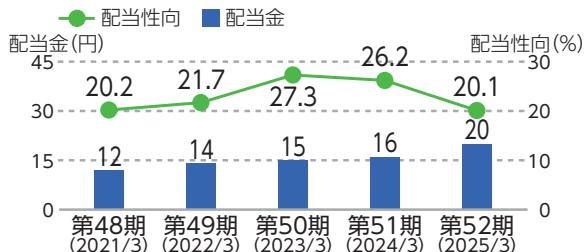
株価及び出来高の推移



株主還元方針

当社は、株主に対する利益配分を経営上の重要課題として認識しております。配当につきましては、継続的に安定した利益還元を実施することを基本とし、併せて、企業体質の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案し、決定する方針を採っております。現状の当社の業績や財務内容及び経済動向などを総合的に勘案し、今後の配当性向については、純資産配当率が3%を超えない範囲で20%以上を基準としてまいります。

配当性向／配当金



(注) 第50期の配当金には、創業50周年記念配当2円を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 及び全国各支店で行っております。
郵便物送付先/ 電話照会先	電子公告にて行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告の方法	
公告掲載URL	https://www.nittoh-info.co.jp/
上場取引所	名古屋証券取引所 メイン市場 (証券コード1738)
単元株式数	100株



ホームページもご覧ください

<https://www.nittoh-info.co.jp/>



株式会社 NITTOH

(登記社名 株式会社ニットー)

〒454-0027 名古屋市中川区広川町3丁目1番地8

TEL.052-304-8210 FAX.052-362-3210

<https://www.nittoh-info.co.jp/>

株主優待のご案内

所有株式数1,000株以上の株主の皆様へ

3月31日	1,000株以上の株主様	全国共通おこめギフト券 (5kg分)贈呈
9月30日	1,000株以上の株主様	当社オリジナルカレンダー 贈呈



【お知らせ】 ご注意

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

